

新愛知県がんセンター整備基本設計業務公募型プロポーザル 審査基準書

(1) 一次審査(技術提案書等の審査)基準

審査項目			求める内容(評価の着目点)	書式	判断基準	審査方法
技術提案	業務実施方針	実施方針・体制	・病院・研究施設の併設という事業特性を踏まえ、業務内容、事業背景及び各種手続に対する理解度の高い技術者の配置体制を提案すること ・複数の棟を並行して設計を進めるための合意形成手法及び実施体制を提案すること	【様式第11号】 A4×1枚	プロポーザルの前提条件(基本計画検討資料の内容等)から大幅な乖離がないか。	技術提案書の内容について討議・審査を行い、選定委員会の総意により二次審査へ参加する者を5者程度まで選定する。
		工程管理・業務フロー	・発注者及び関係者の意思決定に配慮した設計工程を提案すること ・事業遅延を防ぐための会議体構想及び業務進捗管理手法を提案すること			
	技術提案課題① 次代のがん医療・研究の中核施設としての役割を果たす施設計画		・基本構想及び基本計画を踏まえ、次代のがん医療・予防の研究開発や、最先端のがん医療の提供を行う新愛知県がんセンターが備えるべき病院機能及び研究所機能に資する施設計画・コンセプトであるとともに、AIをはじめとするデジタル技術の導入やスマートホスピタル化の進展に対応した、先進的かつ具体的な施設計画を提案すること ・臨床・研究を有機的に連携させる総合がんセンターの施設計画及び、オープンイノベーションの推進に向けた外部機関との緊密な連携に資する施設計画を提案すること ・各棟の関連性に配慮し合理的な分棟配置及び現地建替えによる施工条件及び想定工程表に示す事業スケジュールを十分理解し、工事期間中も現がんセンターの診療・研究機能及び周辺環境への安全性を確保のうえ、竣工までのセンター全体の整備スケジュールの実現に配慮した配置計画を提案すること	【様式第12号】 A3×1枚		
	技術提案課題② がん医療、がん研究の変化や、災害・感染症などの発生にも柔軟に対応できる施設計画		・患者及び職員の利便性に加え、災害、感染症、システム障害等の発生時においても医療・研究機能の継続性を確保できる施設計画を提案すること ・スマートホスピタル化・DXの進展や将来の医療・研究機能の変化や、運営体制の変更にも柔軟に対応できる可変性・拡張性を有する施設計画を提案すること	【様式第12号】 A3×1枚		
	技術提案課題③ 建設市況の変動を見据えた、建設コスト及びライフサイクルコスト、ライフサイクルカーボンの削減に関する方策		・面積、構造、設備、仕様、施工方法、維持管理、更新性、省エネルギー、脱炭素、スマートホスピタル化、DXの進展等を踏まえ、効率的な施設計画で医療機能・研究機能を損なうことなく、建設コスト及びライフサイクルコスト、ライフサイクルカーボンの削減を図る方策を提案すること。また、CASBEE、ZEBに対する考え方を記載すること ・設計期間を通じて事業費を抑制するためのコスト管理手法や、建設市場動向を適切に確認・評価するための具体的な手法を提案すること	【様式第12号】 A3×1枚		
	技術提案課題④ その他独自提案		・新がんセンターの果たすべき役割や目指す姿の実現に向けた独自の提案、または本基本設計業務の実施に当たり特に有効と考える事項を提案すること	【様式第12号】 A3×1枚		

